

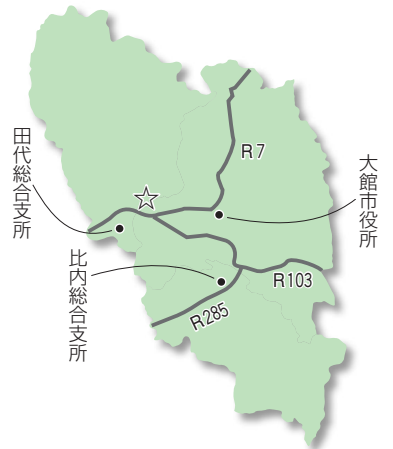


歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド

55  
市民の皆さんが  
たくさん登場

☆今回訪ねたのは  
「下川治公民館」  
H22. 3. 1取材



## 最

近は随分と日が長くなり、場所によってはフキノトウが顔を出したというニュースもありました。日当たりの良いところから、春を告げる使者が順次顔を出してくれることでしょう。とはいえまだまだ寒いこの時期、外を出歩いている人なんぞぞざいませぬ。今回は下川治公民館を訪ね、中で暖か〜く活動されている方々との出会いを求め、突撃インタビューの始まりです。

## 下

川治地区は、プロレタリア作家「小林多喜二」の生誕の地でも知られていて、地区の皆さんが集う下川治公民館は、JR下川治駅にほど近い場所にあります。講堂からは既にバレーボールに興ずる人達の大きな声が響いていますが、3月といえばやっぱり『ひな祭り茶会』。ってことで、まずはそちらの会場へお邪魔します!!

## 和

服姿で茶器の準備をしていたのは佐藤正子<sup>まきこ</sup>さん(一心町)。普段はお茶会の講師をしているとのことですが、卒業を控えた川口小学校の6年生に、中学校へ入学する前に礼節を知ってもらおうと、毎年お手伝いに来ているんだとか。「実は現役当時、長木小学校の教師をしていたんです。当時は木造校舎を建て替え中で、退職前の1年間だけ新しい校舎で過ごしたんです

お茶の指導をしてくれた佐藤さん



が、そのときに受け持っていた子が6年生だったの。今日の子どもたちを見てると、なんか昔の教え子のことを思い出しますね」と佐藤さん。

## お

話を伺っていると、元気なあいさつとともに部屋にやってきたのは、6年1組の子どもたち。佐藤さんの前に正座したとたん「ぎやかさはピタリとやみ、きちんと話に耳を傾ける優等生に大変身!」お茶の経験のある人との問い掛けに、なんと一斉に手が挙がります。ウム? これは意外。近くにいた安部ちよみ<sup>ちよみ</sup>さん(餅田1区)と佐藤美里<sup>みさと</sup>さん(川口5区)に声を掛けると「広報ッ! 知ってる。読んだことあるよ」。ンー何とうれしいお言葉! で、お茶の味はどうだった? 「ちよっぴり苦かったけどおいしかったです。日本の文化に触れることが出来て勉強になりました」と、これまた立派なコメントのちよみさん。



いつもおしゃべりしているという仲良しの美里さん(左)とちよみさん